

災害の被害を減らすためにできること

日常生活のなかに「防災」を

(写真提供) 宮城県塩竈市



4月に熊本県熊本地方を震源とする震度7の地震が連続して発生し、大きな被害が出ました。当地域でも、広範囲でじん大な被害をもたらすと予想されている南海トラフ地震などの発生が危うがされています。大地震はいつ起きてもおかしくない状況であり、大地震が起きれば、津波に襲われる可能性もあります。

災害に対して事前の備えがあれば、被害を大きく減らすことができます。自分や家族の身を守り、地域で助け合うために、できることは何かを考えてみましょう。

問合せ 防災課防災計画係

災害の情報は どうやって知るのですか？

【へきなん防災メール】

市民の皆さんがどこでも迅速に防災情報を受け取れるよう、携帯電話やパソコンへ様々な防災情報をメールで配信するサービスを行っています。あらかじめ登録したメールアドレスにメールが届きます。メール機能を使って、個人でいつでも登録、解除できます。是非ご活用ください。

※登録は無料ですが、メール受信にかかる通信料は利用者負担です。通信環境などにより、サイトへのアクセスおよびメール受信に時間がかかる場合があります。

●日本語での配信情報

次の3種類から希望する情報を選択できます。

- 気象情報 気象警報など
- 防災情報 地震情報、津波情報、避難に関する情報など
- 火災情報 市内の火災情報
- 外国語（英語、ポルトガル語、スペイン語）での配信情報
- 気象情報 気象警報など
- 防災情報 地震情報、津波情報

●登録方法

QRコードを読み取るか、各アドレスあてに空メール（件名、本文不要）を送信し、返信される仮登録完了メールから本登録してください。言語ごとに事前に登録する必要があります。

迷惑メール防止機能を使用している場合、登録する前に hekinan-city@raidai.ktaiwork.jp からのメールを受信できるようにしてください。



各アドレス

日本語 bousai.hekinan-city@raidai.ktaiwork.jp
 英語 be-bousai.hekinan-city@raidai.ktaiwork.jp
 ポルトガル語 bp-bousai.hekinan-city@raidai.ktaiwork.jp
 スペイン語 bs-bousai.hekinan-city@raidai.ktaiwork.jp

【緊急速報メール】

災害発生時に避難勧告など、特に緊急性の高い情報を迅速に提供するため、緊急速報メール（NTTドコモのエリアメール、auおよびソフトバンクの緊急速報メール）を運用しています。

対応機種種の携帯電話へ、市からの災害情報を緊急速報メールで市内に一斉配信します。情報配信時に通話や通学などで市内を訪れている人へも配信されます。

※配信できる情報は特定の緊急性の高い情報に限定しており、気象警報などは配信しません。また、機種により緊急速報メールを受信できない場合や、受信設定が必要となる場合があります。

【ホームページ】

災害発生時には、市ホームページのトップページに「緊急情報」を掲載します。また、災害時に市ホームページで安定的な情報発信をするため、ヤフー（株）と協定を締結しています。

●防災情報（避難所、避難勧告など）をポータルサイト「Yahoo! Japan」へ掲載します。また、市内在住・在勤の人に、普段から避難所の場所を知ってもらうために、避難所情報を「Yahoo!」に「Yahoo! 地図」に掲載しています。

●災害時、アクセス集中により市ホームページの閲覧が困難になった場合、市ホームページを「Yahoo! Japan」のサーバーに保存し、閲覧できるようにします。ヤフーの検索で碧南市を検索し、市ホームページのキャッシュサイトにアクセスしてください。

※キャッシュサイトとは、ウェブサイトにアクセスが集中して閲覧しづらい状況になったとき、負荷を軽減するために提供される同一内容のウェブページです。

【Pitch FM（ピッチエフエム）83.8MHz】

災害時に持ち運びができ、停電中でも使用できるラジオは、情報を得るための最も有効な手段となります。Pitch FMは碧海地域を中心に地元の情報をラジオ放送しており、災害時には、各市の災害対策本部と連携して災害情報が放送されます。地震や台風など災害時にはPitch FMをご利用ください。

また、ラジオを受信しにくい場合でも、インターネットを介してパソコンやタブレット端末、スマートフォンで放送を聞くことができます。



無料スマートフォン用アプリ「KATCH & Pitch 地域情報」

KATCH災害情報サイトの情報を「見る」、Pitch FMのインターネットラジオ放送を「聴く」という2つの機能に加え、碧南警察署が発信する地域の安全・安心情報もプッシュ通知でお届けします。

※「KATCH & Pitch 災害情報」のリリース版です。左のQRコードの読み取りができない場合は、「KATCH 地域情報」で検索してください。



△iOS端末



△Android端末

- 非常食
- 粉ミルク、ほ乳びん
- 衣類関係
- タオル
- 衣類
- 下着
- 雨具



非常持出品はまとめて、すぐに持ち出せるようにしましょう。持出品は男性で15kg、女性で10kgまでが目安です。また、持出品の使用期限を定期的に確認しましょう。



●非常持出品の準備

大規模災害の発生直後は被災地に支援物資が届くまでに時間がかかることを前提として、国は1週間分以上の備蓄を呼びかけています。食料は長期保存できる非常食だけでなく、食べ慣れているものがあると、より安心です。また、即席めん、缶詰、レトルト食品などを多めに購入しておき、順番に使いながら備えることで、賞味期限切れを防ぐ効果もあります。

●家族構成に応じた備蓄

- 日用品
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ、イヤホン
- 予備電池
- 携帯電話、充電器
- 卓上コンロ
- ライター
- ティッシュペーパー
- 携帯用トイレ
- おむつ
- 生理用品
- ビニール袋
- 安全対策
- 救急医療品
- 常備薬の予備
- 底の厚い靴
- ヘルメット
- 軍手
- 貴重品
- 現金・小銭
- 預金通帳、権利証書など
- 身分証明書、カード類など
- 印鑑
- そのほか
- めがね
- 入れ歯



●まわりのものが危険物に

地震が起きたとき、揺れだけがないことが第一です。建物の耐震化とともに、自宅や職場などの身の回りを確認しましょう。外出先では危険な場所や安全な場所をチェックする習慣をつけましょう。

●住宅の被害認定

市が住家などの被害の程度を調査し、「全壊」「大規模半壊」などの判定結果を、り災証明書に記載します。り災証明書は、各種被災者支援策（給付、融資、減免・猶予、現物支給など）の適用の判断材料として活用されるものです。



赤紙 この建物に立ち入ることは危険です



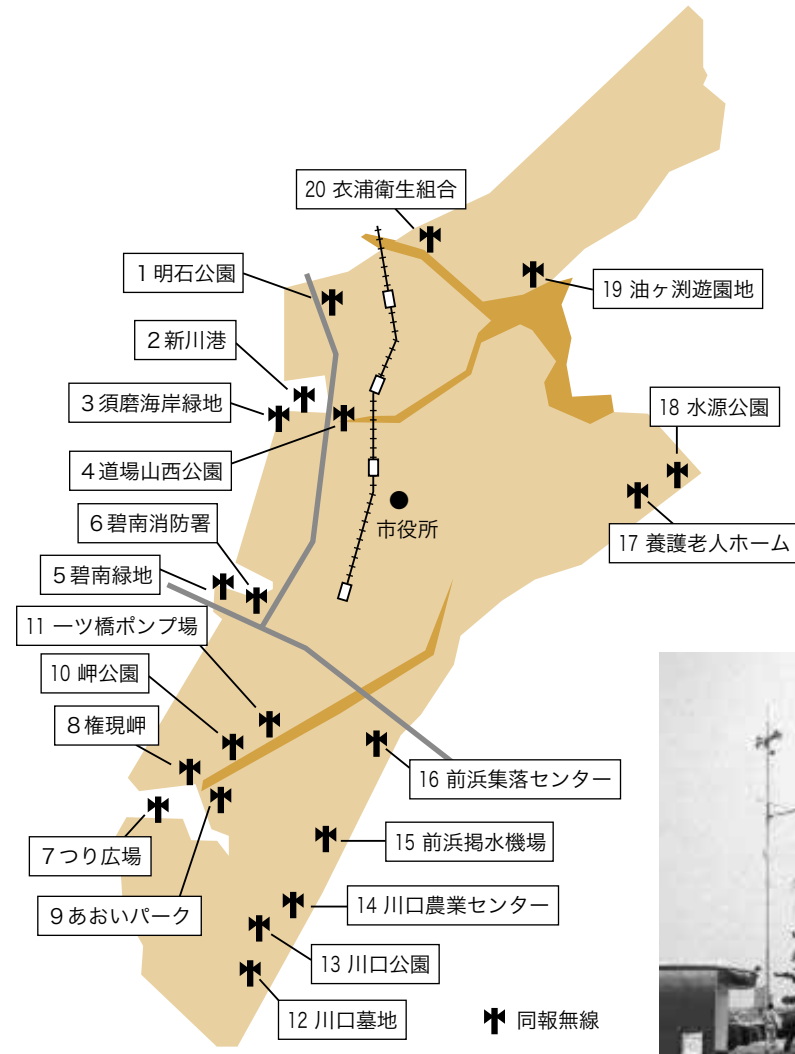
黄紙 この建物に立ち入る場合は要注意です



緑紙 この建物は使用可能です

●応急危険度判定
被災した建物が、その後に発生する余震などで倒壊したり物が落下して、人命に危険をおよぼす恐れがあります。そのため、被災後すぐに、応急危険度判定士（あらかじめ講習を受けた行政職員や建築士など）が、被災した建物の調査を行い、使用できるか否かを応急的に判定します。調査結果は、建物の出入口などの見やすい場所に「危険」「要注意」「調査済」のいずれかのステッカーを表示します。

同報無線設置箇所地図



一時避難所	
① 新川小学校体育館	⑲ 鷺塚小学校体育館
② 新川公民館	⑳ 鷺塚公民館
③ 羽久手保育園	㉑ 荒子保育園
④ 碧南工業高等学校体育館	㉒ 西端小学校体育館
⑤ 中央小学校体育館	㉓ 西端区事務所
⑥ 中央中学校体育館	㉔ 農業者コミュニティセンター
⑦ 保健センター	随時避難所（災害の規模が大きいと判断した場合に開設）
⑧ 大浜公民館	㉕ 勤労者体育センター
⑨ 大浜小学校体育館	㉖ 新川中学校体育館
⑩ 南部市民プラザ	㉗ 新川保育園
⑪ 棚尾小学校体育館	㉘ 文化会館
⑫ 棚尾公民館	㉙ 天道保育園
⑬ 前浜集落センター	㉚ 南中学校体育館
⑭ 川口農業センター	㉛ 臨海体育館
⑮ 日進小学校体育館	㉜ 棚尾ふれあい館
⑯ 日進公民館	㉝ 防災の家
⑰ 東部市民プラザ	㉞ 西端下区事務所
⑱ 東中学校体育館	㉟ 西端保育園

津波が発生した場合の情報伝達手段として、市内の沿岸部を中心に20か所の同報無線を整備しています。津波警報や緊急地震速報など時間的余裕のない事態が発生した場合に、人工衛星を用いて情報を送信し、市の防災行政無線や市役所内の館内放送を自動で起動し、緊急情報を瞬時に伝達します。

【同報無線】

事前に家族・地域でできる対策はありますか？

●避難所の再確認

災害時や大雨・暴風警報などが発令された場合、市では状況に応じて被災する恐れのある人たちのために避難所を開設します。ハザードマップなどを参照して自分の住んでいる地域や勤務先付近の避難所と避難経路を家族などで話し合い、再確認しておきましょう。

避難所の開設の状況は、市ホームページやへきなん防災メールで確認できます。災害の危険性が高まった場合「避難勧告」を出します。避難勧告が出たら避難を始めてください。また、さらに危険性が高い場合には「避難指示」を出すことがあります。避難指示が出た場合は、速やかに避難してください。

●家族・地域ぐるみでの防災対策

地震が起きたときの家族の役割分担や避難場所、連絡方法などを事前に話し合いましょう。

●防災訓練への参加

必要ときに消火器や可搬ポンプなどを使用するように防災訓練に積極的に参加しましょう。